

# 令和8年度版「エスビューア」の主な機能

数研出版 編集部

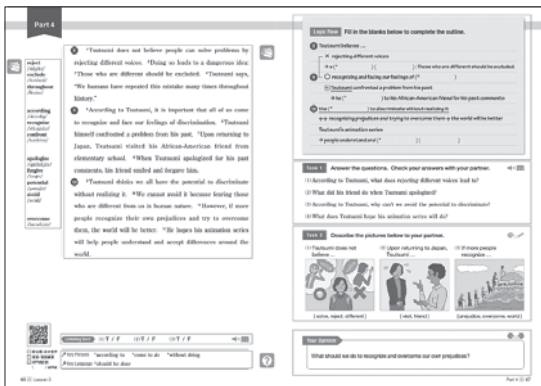
令和4年度に新高等学校学習指導要領が実施されて以降、数研出版のデジタル教科書／デジタル副教材「エスビューア」は多くの学校でご導入いただき、先生方のご授業や生徒の皆様の学習において、さまざまな場面でお役だていただいております。今号では、令和8年度の教科書発行に合わせてさらに充実したエスビューアの機能について、あらためて詳しくご紹介します。

※今号でご紹介する内容は、令和8年度以降に発売した教材に対応しております。それ以前に発売開始した教材では一部非対応の機能もございます。

## 1. 基本的な機能

### ●紙面表示

授業時に紙面を大きく映し出すことで、教員と生徒間、また生徒同士での情報共有が容易になり、スムーズな授業展開を可能にします。



### ●ツールバー

「ペン」「マーカー」「消しゴム」「ふせん」「スタンプ」「拡大・縮小」「しおり」「検索」などの基本的な機能が利用できます。



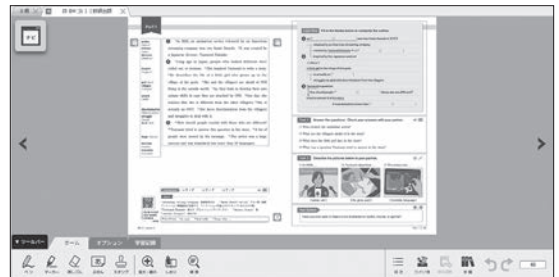
### おすすめ!

「設定」からツールバーの位置を左右に変更することで、紙面をより大きく表示することが可能です。



「左」「下」「右」から位置を選択できます。

ツールバーの位置



▲「下」の設定. 従来の表示形式。

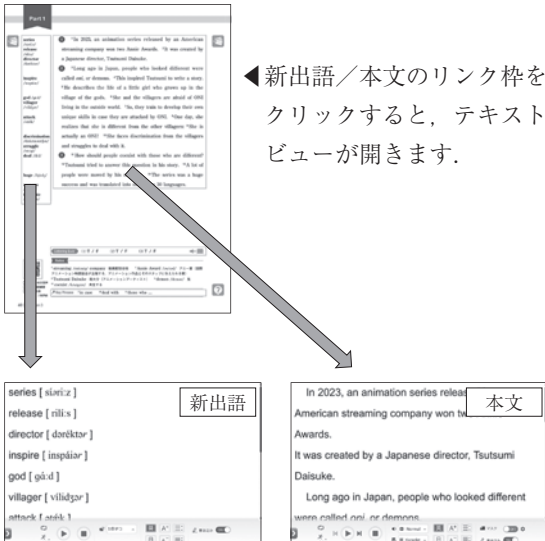


▲「右」の設定. 紙面をより大きく表示可能。

## 2. 新出語・本文の拡大表示機能など

### ●テキストビュー

新出語や本文は、ワンクリックで大きく表示できます。



◀新出語／本文のリンク枠をクリックすると、テキストビューが開きます。

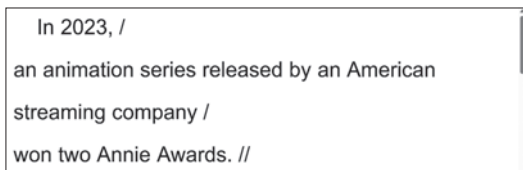
さらに、操作パネルで音声再生方法や表示方法をカスタマイズできます。



- ① 1文／全体のリピート再生
- ② 音声の再生スピードの変更(0.5～1.5倍速)
- ③ 音声の種類の変更

教科書の本文では、音声の種類を Normal, Faster, Phrase などから選択できます。

Phrase を選択すると、スラッシュで区切られた本文が表示されます。

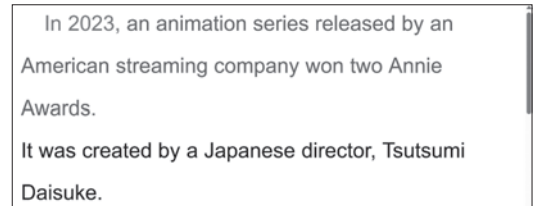


#### ▲ Phrase 再生

### ④テキストの表示方法の変更

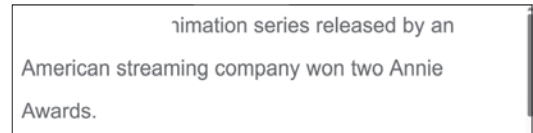
「カラオケ」「フェードアウト」「フェードイン」「フラッシュ」「クローズ」の5種類から選択できます。

「カラオケ」では音声に合わせてテキストの文字色が変わるため、綴りと音の関係や、音の脱落や同化といった発音の現象に意識が向くようになります。



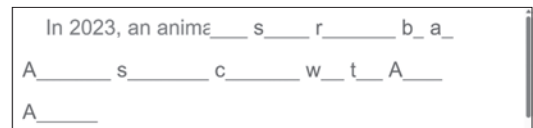
#### ▲カラオケ(再生箇所の色が変わる)

「フェードアウト」では、音声に合わせてテキストが消えていくため、音声に遅れないように音読することで、ゲーム感覚で音読に取り組むことができます。



#### ▲フェードアウト(英文が前から消えていく)

「クローズ」では、各単語の語頭のみを残した英文が表示されます。適度な負荷をかけて本文の復習に取り組むことができます。



#### ▲クローズ(単語の語頭のみ表示)

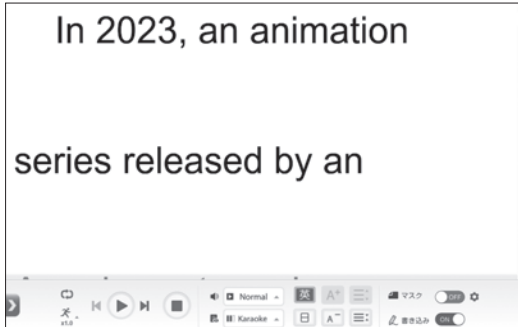
### ⑤英語、日本語訳の表示を切り替え

「指導者用デジタル教科書(教材)」や「学習者用デジタル副教材」では、英語・日本語訳の表示を切り替えることができます。

英語非表示の状態でも音声再生して、シャドーイングやディクテーションに取り組むこともできます。

## ⑥文字サイズ，行間を変更

文字サイズも行間も，9段階で細かく設定可能です。行間への書き込みを行いたいときは，文字サイズを大きくして行間を広く設定する，といったように用途に応じた調整を手軽に行えます。



▲文字サイズ・行間を最大に設定



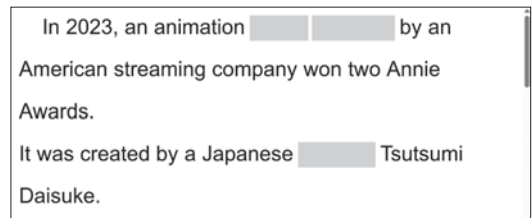
▲文字サイズ・行間を最小に設定

## ⑦マスク機能

本文中の単語にマスクをつけて隠す機能です。英語コミュニケーションでは新出語のマスク表示ができます。指定した語数でランダムにマスクをつけられるほか，設定画面の表示中に単語をクリックすることで，手動でのマスク追加も可能です。



▲マスクの設定画面

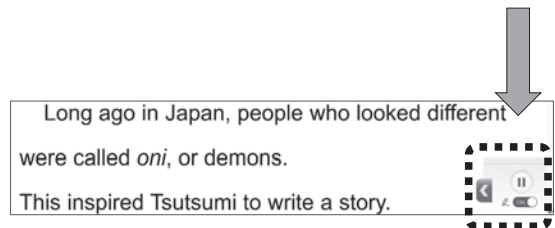
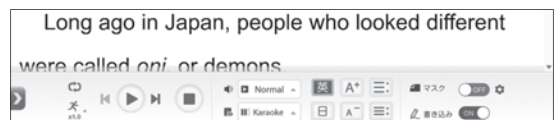


▲新出語にマスクをかけた状態

## ⑧書き込みの表示・非表示の切り替え

## 新機能！

「テキスト表示領域を大きくしてほしい」というご要望にお応えして，操作パネルの最小化機能を追加しました。ツールバーの位置調整などと合わせることで，従来よりも表示領域を広げることができます。



▲操作パネルを最小化

このように，テキストビューの機能を活用することで，習熟度や学習目的に応じた多種多様な活動を行うことができます。

また，「英語コミュニケーション」では，以下の3つの機能(フラッシュカード，速読トレーニング，通訳トレーニング)を使った新出語や本文の学習も可能です。

## ●フラッシュカード

新出語や本文(一部を除く)をフラッシュカード形式で再生できます。英語カード，日本語カード，発音記号カード，英日併記カードなどを組み合わせて使用できます。



▲フラッシュカード(上：単語/下：本文)▼



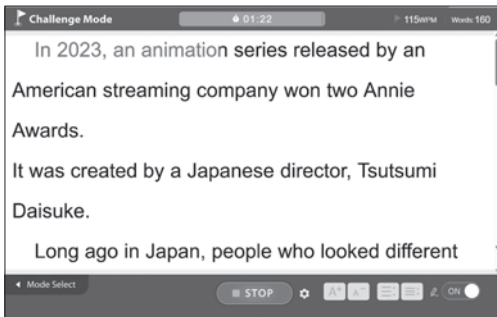
●速読トレーニング

教科書本文を使って速読の練習ができます。

ノーマルモード 語数と読み終えた時点での経過時間から WPM(words per minute)を算出。



チャレンジモード あらかじめ目標 WPM を設定し、その制限時間内に読み終われたかどうかを判定。



●通訳トレーニング(指導者用のみ)



教科書本文を使い、「英→日」「日→英」を制限時間内に訳す(話す)練習ができます。

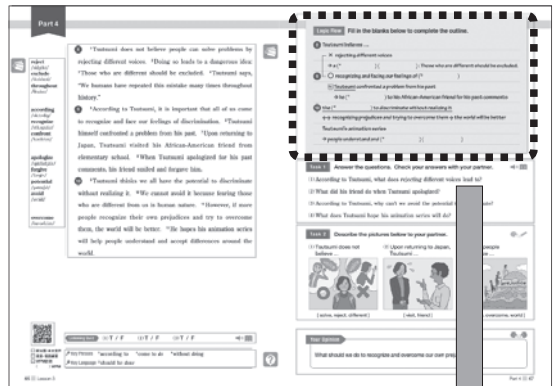
「フレーズごと」または「1文ごと」に表示された英語または日本語を訳していきます。

「自動めくり」モードの場合は、速読トレーニングと同様、タイマーの制限時間内に訳します(制限時間に達すると、訳が表示されます)。

3. その他の便利な機能

●スライドビュー

問題や写真といった紙面の各要素を拡大表示できます。さらに、「指導者用デジタル教科書(教材)」では解答や和訳の表示、リスニング問題の音声再生・スクリプト表示などもできます。



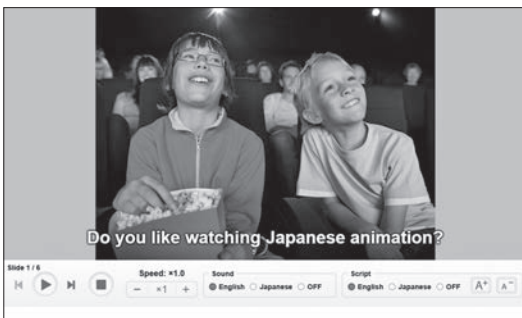
解答のふせんはワンクリックではがせるので、生徒の反応を見ながら適切なタイミングで解答を表示できます。



▲答え合わせ

### ●スライドショー(「英語コミュニケーション」の指導者用のみ)

「英語コミュニケーション」の「指導者用デジタル教科書(教材)」では、各レッスンの題材に関するスライドショーが再生可能です。音声・字幕それぞれで、英語・日本語・OFFの切り替えができます。設定を調整することで、習熟度に合わせたリスニング活動として扱うのも効果的です。



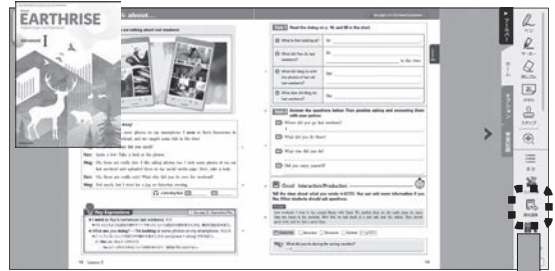
▲スライドショー

### ●教材連携

複数のデジタル教科書／デジタル副教材をご採用いただいた場合、閲覧中のページや問題から、関連する教科書／副教材(参考書・グラマーテキスト)のページにジャンプすることができます。

たとえば、『学習者用デジタル教科書・教材 Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced』を使用中に、各課に出てくる文法事項の詳しい解説を参照したい場合、ツールバーの教材連携ボタンをクリックするだけで、『デジ

タル副教材 改訂版 チャート式シリーズ EARTHRISE 総合英語』の該当ページを開き、解説や文法問題を確認する、といったことができます。



▲ほかの教材の関連ページが表示される

### ●参考書表示(「論理・表現」の指導者用のみ)

「論理・表現」の「指導者用デジタル教科書(教材)」では、教科書で扱っている文法項目に対応する参考書紙面の一部を表示することもできます。

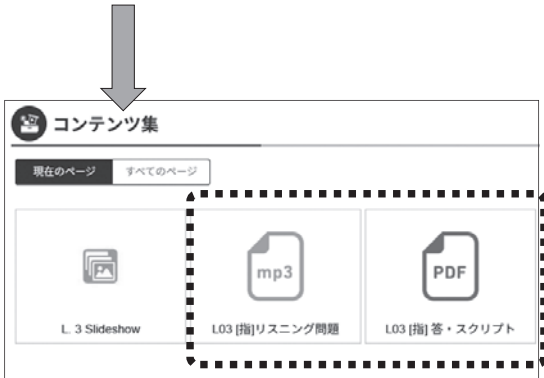
※デジタル副教材を採用いただいていなくても表示可能です。



▲参考書紙面の一部が表示される

●定期考査用リスニング問題(指導者用のみ)

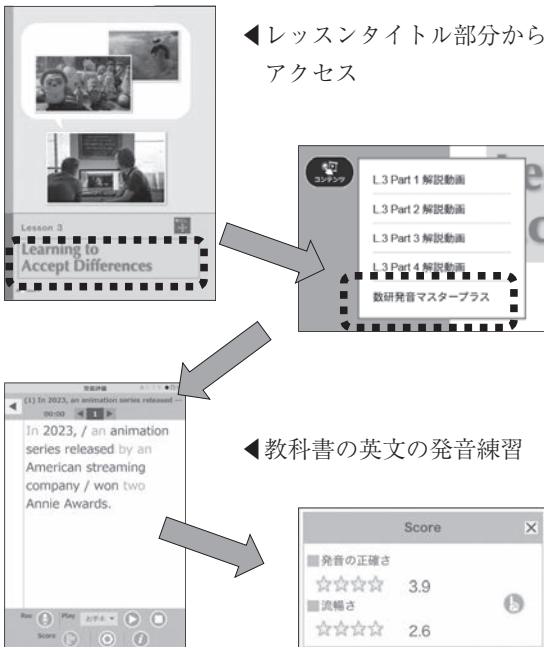
「指導者用デジタル教科書(教材)」では、ツールのコンテンツ集から、定期考査等にもご使用いただけるリスニング問題に取り組めます。



▲音声の再生とスクリプト・解答の表示が可能

●数研発音マスタープラス(学習者用のみ)

英文の発音練習ができる QR コンテンツ「数研発音マスター」が、管理機能に対応開始しました。学習者用デジタル教科書・教材をご採用いただくと、管理機能付きの「数研発音マスタープラス」がご利用可能です。



◀レッスントイトル部分からアクセス

◀教科書の英文の発音練習

学習履歴は、「数研発音マスタープラス先生用サイト」からご確認いただけます。

ユーザー	実施率	練習回数
数研一部	1%	20回
数研二部	1%	15回
数研三部	1%	23回
数研四部	1%	15回
数研五部	1%	20回

▲上：クラスの管理画面／下：▼詳細な学習履歴

No	実施日時	発音の正確さ	スコア	実施数	正確さ	回数
1	2025/05/13 14:01:45	1.1/4.0	3箇所	1.0/4.0	2箇所	→ 音声DL 音 音声履歴

発音項目: 発音の正確さ

発音内容: スコア: 0.0  
単語をクリックすると(タップすると)再生出来すので、自分の発音とお手本の発音を何回も聞き比べてみましょう。  
本ソフトウェアでは単語毎及び発音記号毎に発音の聞き取りやすさを5段階のスコアで判定しております。  
0に近づく程、発音に誤りがある。異なる発音に聞こえる可能性があります。  
検定試験の最終問題では聞き取りやすさを数段階のスコアで判定されますので、3以上のスコアを繰り返しとれるように練習しましょう。  
[Driving] の [n] の発音を確認しましょう。自分の発音とお手本の発音を聞き比べてみましょう。

また、生徒も自身の学習履歴を確認できるので、うまく発音できなかったコンテンツを後日復習することも可能です。

なお、ご使用に際しては、学習者用デジタル教科書・教材をご採用後に別途お申し込みが必要です。詳しくは、学習者用デジタル教科書・教材のライセンス証明書と合わせて納品される案内をご確認ください。

6月上旬に配信予定のメールマガジン(SUKEN Newsletter vol. 121)では、本記事にて紹介しきれなかったエスビューアの活用法についてのご紹介を予定しています。

**数研出版の教科別メールマガジン**  
「SUKEN Newsletter」配信中

月2回程度、数研出版から英語に関するバラエティ豊かな情報をお届け!

- ・編集担当による新刊紹介
- ・ICT活用のヒント
- ・大学入学共通テスト分析
- ・セミナー案内 など

**【メルマガ限定】**  
竹岡広信先生・松坂ヒロシ先生のコラムも!

詳しくはQRコードか、URLからご覧ください。ご登録をお待ちしております。

数研

🔗 <https://www.chart.co.jp/m-magazine/>